

(様式1) 新規評価総括表(記載例)

事業種類		道路付帯施設の整備		事業名	交通安全施設等整備							建設部 道路管理課						
番号	市町村名	(ふりがな) 箇所名	事業概要	全体事業費 (千円)	H29年度 事業費 (千円)	完了 予定 年度	箇所評価						部意見	行政改革課意見	現地 調査	申請	採択	備考
							必要性	重要性	効率性	緊急性	計画熟度	総合評価						
1	こまがわし 駒ヶ根市	(主)いな いな いしだ 線 伊那耕地	歩道設置工 L=240m W=2.0m	150,000	15,000	H31	A	A	B	B	C	B	朝夕の交通量、歩行者が多い通学路であり、安全な歩行空間を確保するため、早期の歩道整備が必要である。	計画区間内にある中学校出入口から北側の歩道が未整備で、歩行者の安全に支障をきたしていることから、必要性、重要性が認められる。	○	○	○	
2	あづみのし 安曇野市	(国)147号 本吉町	交差点改良工 L=200m	300,000	65,000	H33	A	A	C	A	C	A	交通量の多い路線であり、安曇野市街路事業によって市道が拡幅されると交通渋滞が予想される交差点であるため、安全な交通空間の確保のため早期の改良が必要である。	現道交差点は右折レーンがないことから慢性的な渋滞が発生し、歩道も一部未整備で円滑な交通に支障をきたしていることから、必要性が高く、重要性、緊急性も認められる。	○	○	○	
3	ながのし 長野市	こまつばら かわなかじま 停車場線 川中島	歩道設置工 L=50m W=2.5m	300,000	13,000	H31	A	C	B	B	C	B	中学へ通学する生徒や川中島駅を利用する歩行者が利用する踏切であり、安全な歩行空間を確保するため、早期の歩道整備が必要である。	計画区間は川中島駅を利用する通学、通勤者が多く通行しているが、踏切部とその前後は歩道未整備で危険な状況にあることから、必要性が認められる。	○	○	○	
合 計			3箇所	750,000	93,000													

* 単独事業の場合は申請の欄を削除して使用する。